

2023年全日本ラリー選手権統一規則

下線部分：変更箇所

2023年規則	2022年規則
<p style="text-align: center;">第1章 大会告知</p> <p>第1条 (略)</p> <p>○競技会の定義および組織 <u>2023</u>年JAF全日本ラリー選手権第○戦「[競技会の名称]」は、一般社団法人日本自動車連盟（以下「JAF」という）の公認のもとにFIA国際モータースポーツ競技規則およびその付則に準拠した日本自動車連盟（JAF）の国内競技規則およびその細則、<u>2023</u>年日本ラリー選手権規定、<u>2023</u>年全日本ラリー選手権統一規則、ラリー競技開催規定および本競技会特別規則に従い国内競技として開催される。</p> <p>○プログラム (略)</p> <p>○競技会の名称 <u>2023</u>年JAF全日本ラリー選手権第○戦 ○○ラリー<u>2023</u></p> <p>○競技の格式 JAF公認：国内競技 JAF公認番号<u>2023</u>年○○○○号</p> <p>○競技種目 (略)</p> <p>○開催日程および開催場所 <u>2023</u>年○月○日 (○) ～○月○日 (○) の○日間 ○○県○○郡○○町周辺 ラリースタート : ラリーフィニッシュ:</p> <p>○競技会本部 (HQ) ～○参加申込および問い合わせ先 (大会事務局) (略)</p>	<p style="text-align: center;">第1章 大会告知</p> <p>第1条 (略)</p> <p>○競技会の定義および組織 <u>2022</u>年JAF全日本ラリー選手権第○戦「[競技会の名称]」は、一般社団法人日本自動車連盟（以下「JAF」という）の公認のもとにFIA国際モータースポーツ競技規則およびその付則に準拠した日本自動車連盟（JAF）の国内競技規則およびその細則、<u>2022</u>年日本ラリー選手権規定、<u>2022</u>年全日本ラリー選手権統一規則、ラリー競技開催規定および本競技会特別規則に従い国内競技として開催される。</p> <p>○プログラム (略)</p> <p>○競技会の名称 <u>2022</u>年JAF全日本ラリー選手権第○戦 ○○ラリー<u>2022</u></p> <p>○競技の格式 JAF公認：国内競技 JAF公認番号<u>2022</u>年○○○○号</p> <p>○競技種目 (略)</p> <p>○開催日程および開催場所 <u>2022</u>年○月○日 (○) ～○月○日 (○) の○日間 ○○県○○郡○○町周辺 ラリースタート : ラリーフィニッシュ:</p> <p>○競技会本部 (HQ) ～○参加申込および問い合わせ先 (大会事務局) (略)</p>

○保険

2023年日本ラリー選手権規定第17条に基づき、対人賠償保険（無制限／〇〇〇万円以上）および搭乗者保険（または共済等）（無制限／〇〇〇万円以上）に加入していること。

[※上記金額を決定し明記すること]

○音量規制～○レッキの実施方法（略）

○タイヤおよびホイール

装着するタイヤ・ホイールは、車両のクラス区分に従って定められる下記の最大直径および最大幅とする。

1) ホイール

クラス1（JN-1）：FIA国際モータースポーツ競技規則付則J項第260、261条801項に従うこと

クラス2（JN-2）：最大直径 18インチ 最大幅 8.5インチ

クラス3（JN-3）：最大直径 18インチ 最大幅 7.5インチ

クラス4（JN-4）：最大直径 18インチ 最大幅 7.5インチ

クラス5（JN-5）：最大直径 18インチ 最大幅 7インチ

クラス6（JN-6）：最大直径 18インチ 最大幅 7インチ

2) タイヤ

本競技会で使用できるタイヤの本数は、〇〇本までとする。

[※1. 舗装（アスファルト、ターマック等）スペシャルステージとして認定された競技会の場合、以下の条文を追記すること]

○保険

2022年日本ラリー選手権規定第17条に基づき、対人賠償保険（無制限／〇〇〇万円以上）および搭乗者保険（または共済等）（無制限／〇〇〇万円以上）に加入していること。

[※上記金額を決定し明記すること]

○音量規制～○レッキの実施方法（略）

○タイヤおよびホイール

1) ホイール：

装着するホイールは、車両の総排気量に従って定められる下記の最大直径および最大幅を超えていないこと。ただし、同一車両型式のカタログに記載されているホイールの直径および幅が下記の数値を超えている場合は、カタログに記載されている数値を最大値とすることができる。

－総排気量1,400ccを以下の車両：最大直径14インチ、最大幅6インチ

－総排気量1,400ccを超え2,000cc以下の車両：最大直径16インチ、最大幅7インチ

－総排気量2,000ccを超える車両：最大直径17インチ、最大幅7.5インチ

※なお、2023年以降本項について変更を行う場合がある。

2) タイヤ：

本競技会で使用できるタイヤの本数は、本までとする。

[※1. 舗装（アスファルト、ターマック等）スペシャルステージとして認定された競技会の場合、以下の条文を追記すること]

クラス1 (JN-1): 最大幅リム/タイヤの組み立て品の幅は9インチとし、直径650mm以下とする。

クラス2 (JN-2): 最大幅 245ミリ (タイヤに刻印されたサイズ)

クラス3 (JN-3): 最大幅 225ミリ (タイヤに刻印されたサイズ)

クラス4 (JN-4): 最大幅 225ミリ (タイヤに刻印されたサイズ)

クラス5 (JN-5): 最大幅 215ミリ (タイヤに刻印されたサイズ)

クラス6 (JN-6): 最大幅 215ミリ (タイヤに刻印されたサイズ)

- ・ クラス1 (JN-1) に限りFIA公認タイヤ、またはこれと同等な公道走行が認められている一般市販タイヤとする。

- ・ 下記事項を満たしたタイヤを使用すること。
ただし、下記(1)による縦溝のみを有したタイヤの使用は認められない。

(1) ~ (2) (略)

[※2.] ~ [※3.] (略)

[※4. 競技会で使用できる最大本数の算出方法]

- ・ 舗装 (アスファルト、ターマック等) スペシャルステージにおける最大本数は、その距離に関わらず一律10本とする。

- ・ FIA公認タイヤについて、全日本選手権においてはその使用は認められない。ただし、FIA公認タイヤのうち、JATMA YEAR BOOKに記載されているもの、またはこれと同等なものであり、かつ公道走行が認められているタイヤについては使用することができる。

なお、2022年全日本ラリー選手権統一規則第2条によりFIA国際モータースポーツ競技規則付則J項に準拠することが定められた車両については、当該年のFIAレジョナルラリー競技規則付則Vに規定されるFIA公認タイヤを使用すること。

- ・ 下記事項を満たしたタイヤを使用すること。
ただし、下記(1)による縦溝のみを有したタイヤおよびスノータイヤ (「M+S」、「M・S」、「M&S」の表示があるタイヤ) の使用は認められない。

(1) ~ (2) (略)

- ・ 安全上必要と判断した場合、競技長の宣言により規定本数に追加して2本使用することができる。本項に従ってなされた競技長の宣言に対して抗議することはできない。

[※2.] ~ [※3.] (略)

[※4. 競技会で使用できる最大本数の算出方法]

- ・ 舗装 (アスファルト、ターマック等) スペシャルステージの距離が50km ~ 100km未満の場合、6本とし、以降50km未満毎に2本追加 (例: 100km ~ 150km未満、150km ~ 200km未満)

- ・未舗装（グラベル等）スペシャルステージの距離が50km～100km未満の場合、12本とし、以降25km未満毎に2本追加（例：100km～125km未満、125km～150km未満）。
- ・積雪（氷結路面を含む）スペシャルステージの距離が50km～100km未満の場合、8本とし、以降25km未満毎に2本追加（例：100km～125km未満、125km～150km未満）。

[※5.] (略)

○セレモニアルスタート／フィニッシュ～○細則 (略)

第2章 競技参加に関する基準規則

第2条 参加車両

当該年の日本ラリー選手権規定第7条に従う。

0km未満）。

- ・未舗装（グラベル等）スペシャルステージの距離が50km～100km未満の場合、12本とし、以降25km未満毎に2本追加（例：100km～125km未満、125km～150km未満）。
- ・積雪（氷結路面を含む）スペシャルステージの距離が50km～100km未満の場合、8本とし、以降25km未満毎に2本追加（例：100km～125km未満、125km～150km未満）。

[※5.] (略)

○セレモニアルスタート／フィニッシュ～○細則 (略)

第2章 競技参加に関する基準規則

第2条 参加車両

1) 当該年の日本ラリー選手権規定第7条に従う。

なお、RRN車両を除くFIA公認車両のうち、ラリー競技開催規定細則：スペシャルステージラリー開催規定第5条1. 2) (2)に基づき全日本ラリー選手権に出場する車両は、現在有効なFIA公認車両であり且つ当該年のFIA国際モータースポーツ競技規則付則J項第251条1. 1 Categories and groups に示す Category 1・Groups R (Rally5/Rally4/Rally3/Rally2) のそれぞれに適用される規定に準拠した車両であること。

2) 日本ラリー選手権規定第8条に基づくクラス1 (JN-1) の性能調整 (1) 前戦のクラス順位により、当該ドライバーの次戦参加車両に対し下記の表による重量調整を行う。

なお、下記重量には、取り付けのための工具等を含むものとする。

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位以下
加減重量	+30kg	+20kg	+10kg	-10kg	-20kg	-30kg

(2) 重量加算はバラストの取り付けにより行う。バラストの取り付けは安全性に十分考慮し、その取り付け方法は当該年のJAF国内競技車両規則第1編レース車両規定第3章3. 3) に従うものとする。

(3) 重量調整はJAF国内競技車両規則第2編ラリー車両規定第1章第9条に定める最低重量、または同最低重量に上記(1)による重

<p>第3条 (略)</p> <p>第4条 参加資格 当該年の日本ラリー選手権規定第9条に基づき以下に従うこと。 1) ~ 3) (略)</p> <p>4) (略)</p> <p>第5条~第10条 (略)</p> <p style="text-align: center;">第3章 競技に関する基準規則</p> <p>第11条~第17条 (略)</p> <p style="text-align: center;">第4章 抗議</p> <p>第18条 (略)</p> <p style="text-align: center;">第5章 競技会の成立、延期、中止、または短縮</p> <p>第19条 (略)</p> <p style="text-align: center;">第6章 賞典</p> <p>第20条 (略)</p> <p style="text-align: center;">第7章 本統一規則の解釈および施行</p>	<p><u>量調整後の車両重量に行うものとする。なお、RRNを除くFIA公認車両の最低重量は当該年のFIA国際モータースポーツ競技規則付則J項に夫々定められた車両重量値とする。ただし、グループNとして公認された車両については公認書に記載された車両重量とする。</u></p> <p><u>(4) 重量加算はその上限を50kgとする。また、重量減算の下限は上記(3)に基づく当該車両の最低重量までとする。</u></p> <p>第3条 クラス区分 (略)</p> <p>第4条 参加資格 当該年の日本ラリー選手権規定第9条に基づき以下に従うこと。 1) ~ 3) (略) 4) 満20才未満 <u>(※2022年4月1日以降は満18歳未満)</u> の競技運転者は、参加申込に際し、親権者の承諾書を提出しなければならない。 5) 1台の参加車両に搭乗するクルーは、ドライバーおよびコ・ドライバーの2名とする。</p> <p>第5条~第10条 (略)</p> <p style="text-align: center;">第3章 競技に関する基準規則</p> <p>第11条~第17条 (略)</p> <p style="text-align: center;">第4章 抗議</p> <p>第18条 (略)</p> <p style="text-align: center;">第5章 競技会の成立、延期、中止、または短縮</p> <p>第19条 (略)</p> <p style="text-align: center;">第6章 賞典</p> <p>第20条 (略)</p> <p style="text-align: center;">第7章 本統一規則の解釈および施行</p>
--	---

第21条～第23条（略）

以上

第21条～第23条（略）

以上